

建築学科帰国生徒選抜 出題意図

【帰国生徒選抜】

本学科の帰国生徒選抜では、造形に関する思考力及び表現力の検査を行い、創造的・論理的に空間を把握する能力と、建築を中心としたテーマに対する小論文の検査を行い、思考力・表現力、創造性や論理性に関する能力を判定します。特に、自身の好奇心によって身についた想像力、空間認識力、思考力を生かして、設問に対して独自の解釈や発想を持つことや、その解釈や発想を裏付けようとする論理的な思考を同時に展開できること、また、物事に対する的確な理解力、及びその理解を踏まえながら独自の思考を表現できることを重視します。

今年度は、造形試験では、3Dプリンターのような手法により複数の条件の元で形成された立体について、その立体形状を把握できるか、その立体形状をスケッチによりわかりやすく表現できるかといった、思考力、空間認識力、表現力をみることを出題意図としています。また、小論文試験では、アレックス・カーの『美しい日本の残像』からの引用文をもとにして、引用文を要約した上で著者の発見について考察し、また、都市と建築がもつ「歴史性や文化性を守ること」と「機能性や安全性の確保」のような相反関係にある事象に関する論述を課すことにより、文章の理解力と、自身の体験を踏まえて論述する文章構成力と表現力をみることを出題意図としています。